

令和4年度 公の施設目標管理型評価書【市民芸術文化会館】

施設名	新潟市民芸術文化会館				
管理者名	(公財)新潟市芸術文化振興財団	指定期間	平成31年4月1日	～	令和6年3月31日
担当課	新潟市文化スポーツ部文化政策課				
所在地	中央区一番堀通町3番地2				
根拠法令	—				
設置条例	新潟市民芸術文化会館条例				
施設概要	設置:平成10年10月 施設規模:鉄骨鉄筋コンクリート造、延床面積25,099.9㎡ 施設内容:コンサートホール(1,994人)、劇場(898人)、能楽堂(382人)、スタジオ(2室)、練習室(8室)、ギャラリー、展望ロビー、新津記念室 料金区分:午前、午後、夜間、全日の区分で場所ごとに料金を設定している。				

施設設置目的	
音楽、演劇、能その他の舞台芸術の振興を図り、もって市民文化の向上に資する。	
管理・運営に関する基本理念、方針等	
1 理念	芸術・芸能文化の【継承】【発展】【創造】と【社会貢献】
2 期待される機能	【本質的な機能】 ・舞台芸術の振興 ・芸術文化活動の普及振興  【発展的機能】 ・都市の魅力の向上 ・良好な都市イメージを発信することによる、交流人口の拡大、経済波及効果の増大など
3 基本方針	① 市民の文化活動の支援 ② 質の高い専門性に富んだ芸術を鑑賞する機会の提供 ③ 文化を支える人材の育成 ④ 地域に根ざした文化創造 ⑤ 社会的役割を果たす基盤の整備・拡充

令和4年度

視点	評価項目	評価指標	実績	評価※	評価コメント※	
市民	基準稼働率の達成	コンサートホール稼働率	86.0%以上	89.5%	B	
		劇場稼働率	80.0%以上	78.5%	B	
		能楽堂稼働率	39.0%以上	34.7%	C	より一層の改善に励まれ、指標の達成を望む。
	基準利用者数の達成	年間利用者数	347,000人以上	245,316人	C	より一層の改善に励まれ、指標の達成を望む。
	文化事業年間鑑賞者数	自主文化事業の年間鑑賞者数が、100,000人以上		84,890人	C	より一層の改善に励まれ、指標の達成を望む。
	貸館利用者に対するサービスの提供及び意見やニーズを聴取する取り組み	下記の取組をしているか。 ・利用者の安全に配慮した貸館対応マニュアルの整備 ・舞台装置の操作助言の実施 ・意見箱、アンケート、インタビューを組み合わせた利用者の意見聴取の実施		3指標すべてにおいて取組を行っている。加えて、利用報告書とアンケートを一体化し、利用者の意見を聴取しやすくしている。	A	報告書やアンケートに工夫が見られ評価できる。
	貸館利用者(主催者)満足度	貸館利用者の満足度調査で、90%以上		99.7%	A	非常に高い満足度で評価できる。
	文化事業公演鑑賞者の意見やニーズを聴取する仕組の有無	意見箱、アンケート、インタビューを組み合わせた利用者の意見聴取を実施していること		ほぼ全ての公演でアンケートを実施、回収結果を整理のうえ事業担当者、管理職が情報共有している。意見箱はNo6に合わせて実施し、インタビューは広報誌に掲載している。	B	
	文化事業公演等の鑑賞者の満足度	文化事業公演等の鑑賞者の満足度調査で、90%以上		98.4%	A	非常に高い満足度で評価できる。
ワークショップ回数・アウトリーチ回数	ワークショップ回数・アウトリーチ回数が年間100以上		117回	A	目標を大きく上回り評価できる。	

	公演や催し物情報の情報発信	下記の取組をしているか。 ①ホームページ、②メールマガジン、 ③テレビ・ラジオ、④新聞、⑤雑誌、⑥ 機関紙、⑦SNS	①～⑦すべて取組あり。加えて、在来線(越後線、白新線、信越線、羽越線、弥彦線、上越線等)、古町フル広場でのデジタルサイネージ、動画共有サイトによる情報発信。	A	積極的な情報発信を行っている点が評価できる。
	会館会員サービス、チケット販売サービスに関する取り組み	下記の取組をしているか。 ①会員先行予約・優先予約制度、② チケット購入者への駐車場割引、③チ ケット割引制度、④セット券の販売、 ⑤カード決済、⑥会員への機関紙の 送付、⑦チケットのネット販売	①～⑦すべて取組あり。加えて、会員限定イベントへの招待等、会員サービスに取り組んだ。	A	サービスに関する積極的な取り組みが評価できる。
	会館会員数の確保	年度末を基準として、5,400人以上の 会員数の確保	9,655人	A	目標を大きく上回り評価できる。
	ホスピタリティに関する取り組み	下記の取組をしているか。 ・レセプションの配置 ・市民に届く広報の実施 ・苦情、要望に対する対応として、回 答が必要な場合、2週間以内に連絡 を入れているか(回答が遅れる旨の 連絡でも可)	3指標すべてにおいて取組を行っている(広報は市民No11のとおり)。加えて、混雑時の窓口対応職員増員に取り組んだ。	A	ホスピタリティ向上の為に取組を行っている点が評価できる。
	東京オリンピックパラリンピック競技大会文化プログラムへの取り組み	文化プログラム認証件数が年間で30 件以上	—	—	
	社会包摂、コミュニティの創造と再生	教育・医療・福祉等 異分野との連携 機会が年間で4件以上	9件	A	目標を大きく上回り評価できる。
	子どもが文化芸術に触れる機会の提供	子ども向け文化事業を実施していること	子供向け音楽事業、子供劇団、能楽体験事業、ダンスWS等。	A	様々な活動に取組んでおり評価できる。
財 務	文化事業 自主財源比率	自主財源比率 67%以上	72.4%	A	目標を大きく上回り評価できる。
	文化事業収入拡大及び外部資金の獲得	下記の取組をしているか。 ・文化事業収入拡大のための営業活動 ・外部資金獲得の情報収集 ・外部資金獲得の関係づくり	3指標すべてにおいて取組を行っている。加えて、資金獲得の専門資格である認定&准認定ファンドレイザー有資格者(職員)を配置し資金獲得に努めた。	A	積極的に外部の資金の獲得・活用に努めている点が評価できる。
	施設使用料収入の増加	使用料収入 71,000千円以上	67,062,684円	C	より一層の改善に励まれ、指標の達成を望む。
	施設利用者一人当たりの運営経費	利用者一人当たりのコスト(人件費及び工事費を除く)を939円以下	1,366円	C	より一層の改善に励まれ、指標の達成を望む。
	市民の文化的環境の充実に対する第三者からの高い評価	国等からの財政的支援の獲得	文化庁(芸文振)劇場・音楽堂等総合支援事業(全国トップ16館)に選定され高額の財政支援を獲得。	A	全国的に高い評価を受けており、評価できる。
	業 務	長期的な管理施設の保全及び、安全確保体制の確立	下記の取組をしているか。 ・市公共建築物保全計画(H30年4月改定)に基づく市の保全計画づくりへの協力 ・消防訓練、防災訓練、AED訓練の実施 ・緊急時の連絡体制、マニュアル整備	「市の保全計画づくり」は施設の状況調査をとおして協力した。残りの2指標に加えて、支配人を座長とする防災ミーティングを定期的開催し、よりレベルの高い安全確保体制のために不断の見直しを実施した。	A
日常連絡の適切さ		月次報告書を翌月10日までに提出	毎月10日までに提出	B	
事業計画・事業報告の適切さ		事業報告書を翌年度4月30日までに提出	4月30日までに提出	B	
運営方針、事業目標		下記の取組をしているか。 ・設置目的、基本的使命を踏まえた運営方針がある ・運営方針をホームページ等で市民に公開している ・運営方針に基づく事業目標に関する自己評価を行っている	3指標すべてにおいて取組を行っている。なお、運営方針は文化庁(芸文振)から高い評価を受け、劇場・音楽堂等総合支援事業(全国トップ16館)に選定されている。	B	
運営方針を実現するための経営戦略の有無		下記の取組をしているか。 ・内部で定期的に各事業を検証する会議を実施している ・所有者である市と各事業の検証結果について会議を行っている ・内部及び市との会議を受けて業務改善、経営の効率化に取り組んでいる	3指標すべてにおいて取組を行っている。	B	

	関係法令等の順守	下記の取組をしているか。 ・個人情報保護研修の実施 ・コンプライアンス研修の実施 ・守秘義務違反なし	個人情報等漏洩防止を目的に全職員を対象に標的型メール訓練を、コンプライアンスを目的に全職員を対象に顧問弁護士による法務・契約研修を実施。守秘義務違反なし。	B	
	他の公立館との共同・連携企画の実施	共同・連携公演の企画が年間10企画以上	6企画	C	より一層の改善に励まれ、指標の達成を望む。
	協働の推進による「公益の増進」「行政の代行的・補完的機能の増進」の実現	・行政にない専門性を活かした管理運営 ・幅広い分野との連携、コーディネーター人材の確保 ・地域の文化人材との連携	3指標すべてにおいて取組みを行っている。	B	
人 材	専門性の高い人材の活用	下記の取組をしているか。 ・オルガニストの配置 ・文化関係法規に精通した弁護士との顧問契約 ・専門的知識、技能、経験、資格等を備えた人材の活用	3指標すべてにおいて取組みを行っている。加えてR5年度～5年間の文化事業中長期計画づくりを評価の専門家を交えて行い職員のスキルアップを図った。	A	積極的に専門性を活かした人材活用を行っている点が評価できる。
	職員の育成	下記の取組をしているか。 ・内部、外部研修の受講 ・スキルアップにつながる自主企画事業の実施 ・研修成果の館内へのフィードバック	3指標すべてにおいて取組みを行っている。加えて、「政策研究大学院大学の「劇場活動にかかる評価リテラシー育成のための教育プログラムの開発」に職員が参加し、業界全体の底上げに貢献した。	A	目標以外にも育成事業を積極的に実施している点が評価できる。
	労働基準の充足	労働基準違反に該当する問題がないこと	36協定違反なし	B	

**【評価基準】**

- A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている(複数の指標の場合、全てを達成し、かつその達成度・内容が優れている)
- B: 要求水準(評価指標)が達成されている(複数の指標の場合、全てが達成されている)
- C: 要求水準(評価指標)が達成されていない(複数の指標の場合、全ては達成されていない)

**指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)**

- ・R4年度も新型コロナウイルス感染拡大による影響(コロナ禍)が色濃く残り、市民(来場者)マインド回復の遅れにより「施設利用者数」「施設使用料収入」等の指標で、目標を達成できなかった。なお、「施設稼働率」はコンサートホール、劇場の指標で目標を達成することができ、主催者側のマインドはコロナ禍から脱しつつあると思われる。
- ・コロナ禍前には、高いレベルで目標を達成していた自主文化事業の「年間入場者・参加者数」は「施設利用者数」と同様に目標を達成することができなかったが、「ワークショップ・アウトリーチ回数」は感染拡大防止策を徹底するなどし、目標を達成することができた。
- ・R3年度に引き続き感染拡大防止対策に取り組んだ結果、「貸館利用者(主催者)の満足度」「自主文化事業公演等の鑑賞者の満足度」は、いずれも高いレベルで目標を達成することができた。
- ・R5年度は政府による5類移行等によりコロナ禍からほぼ脱却することが見込まれるため、全館体制で目標値を達成できるよう取り組む。

**所 管 課 に よ る 総 合 評 価 ( 所 見 )**

新型コロナウイルスによる来場控えの影響から、「施設利用者数」などは未達成となったが、「会館会員数」や「文化事業自主財源比率」については前年度に比べ大幅に増加のうえ、目標を達成しており、改善を評価する。また、「貸館利用者(主催者)の満足度」及び「自主文化事業公演等の鑑賞者の満足度」は引き続き高い水準で目標を達成しており、良好な施設運営及び質の高い自主文化事業の実施に努めたことを評価する。  
光熱水費高騰の影響により、今後も難しい施設運営が求められると予想されるが、施設利用者数の増加に努めていただくとともに、質の高い芸術文化事業を提供し、市民の文化芸術活動の振興に貢献していただきたい。